1 文化の振興

現状課題

- ○価値観の多様化や余暇の拡大などを背景に、心の豊かさを求める人が増える中、日常生活に潤いをもたらし、人と人との交流を生む文化芸術の役割は重要性を増しています。市民が日常的に文化芸術に触れることのできる機会の創出や、多様な市民の文化芸術活動を育む環境をつくることが求められています。
- ○文化財や伝統文化は、地域のアイデンティティを形成するものとして重要性を増しています。市民が郷土の歴史や文化に対する理解を深めるとともに、地域全体で保存・活用を推進し、次世代に継承していくことが求められています。



文化芸術の振興





施策の 方向

拠点文化施設等における優れた文化芸術の公演や,市民文化団体の活動 支援を行うなど,市民の文化芸術に対する関心の向上と鑑賞・体験機会の 充実を図ることで,魅力ある文化芸術がまちにあふれ,文化芸術が市民生 活に潤いをもたらす環境を整えていきます。また,デジタルアーカイブ** を構築・活用することで,オンラインで文化芸術に親しめる機会の創出に も取り組みます。

主な 取組

(1) 質の高い文化芸術に触れる機会の拡充

美術館での展覧会,文化ホールでのコンサート,シビックモール潤いコンサートなど

- (2) 市民の文化芸術活動への支援 文化団体連合会等への支援など
- (3) 拠点文化施設の適切な維持管理と機能充実 美術館・文化ホールの適切な維持管理、施設整備、機能充実など

文化・スポーツ・生涯学習分野



文化財の保存・活用







施策の 方向

文化財保存活用地域計画を策定し、これに基づいて、郷土の歴史や文化を学ぶことのできる文化財や伝統文化を貴重な地域資源として適切に保存し、途切れることなく継承していきます。あわせて、市民、民間団体等と連携し、地域の歴史的魅力である日本遺産やユネスコ『世界の記憶』などを積極的に情報発信することで、文化財の適切な保存と積極的な活用による地域の活性化を図ります。

主な 取組

- (1) 文化財保存活用地域計画の策定
- (2) 文化財の保存と伝統文化の継承

文化財の調査・指定・保存整備,学校教育での学習機会の充実,民俗芸能を継承する地域活動への支援など

(3) 文化財を活用した地域振興

日本遺産、ユネスコ『世界の記憶』等の積極的な情報発信など

- (4) 御手洗伝統的建造物群保存地区のブラッシュアップ
- (5) 歴史資料の整理・活用の推進

指標							
項目	現状			目標			
文化芸術 (音楽,演劇,絵画等)を鑑賞した市民の割合 (年1回以上)	H28	42.9%	R7	58.0%			
文化施設の来館者数(年間)	R元	72,087人	R7	78,000人			

2 スポーツの振興

現状 課題

- ○健康意識の高まりや余暇の過ごし方の変化に伴い、スポーツに対する市 民ニーズが多様化しています。一人ひとりのライフスタイルやライフス テージに応じたスポーツ活動に取り組める環境を整えていく必要があり ます。
- ○娯楽の多様化により、子どもたちの興味や関心は広範囲に分散するとともに、少子化によって子どもの競技人口は減少傾向にあります。競技スポーツを振興していくため、未来を担うトップアスリート人材の発掘や育成を行っていく必要があります。
- ○老朽化したスポーツ施設の設備やトレーニング機器等は、利用者のニーズに十分に対応できない状況にあります。施設を快適に利用できるよう、 設備や機能の充実を図り、サービスの向上に取り組む必要があります。



ライフステージに応じた スポーツ活動の推進







施策の 方向

一人ひとりのニーズやライフステージに応じて、誰もが目的に応じたスポーツに取り組める機会を創出するため、大学や総合型地域スポーツクラブ*1等との連携を強化し、指導者の確保・育成に取り組みます。

トップアスリートとの連携により、子どものスポーツ活動環境の充実を 図り、ジュニアスポーツの活性化を推進します。

主な 取組

(1) 生涯スポーツの推進

生涯スポーツ・健康づくりの機会の創出,参加しやすい講習・研修 会の開催など

(2) 総合型地域スポーツクラブ等との連携強化・機能充実

各種大会・教室の開催,スポーツ推進委員による適切な指導・助言,各種スポーツ指導者の養成・確保支援など

(3) ジュニアスポーツの活性化

トップス広島 $*^2$ 等に所属するトップアスリート等による体育授業, 運動部活動等での講話・専門的な実技指導など

^{※1} 総合型地域スポーツクラブ:従来の単一種目型、一定の年齢層を対象としたスポーツクラブと異なり、複数の種目において子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人が参加できる。自主運営の会員制スポーツクラブ

^{※ 2} トップス広島: 広島県に拠点を置くプロスポーツ団体や全国トップレベルの実業団スポーツクラブが連携して広島のスポーツを盛り上げるため、設立した NPO 法人広島トップスポーツクラブネットワーク

文化・スポーツ・生涯学習分野

競技スポーツの振興





施策の 方向

大学が有する専門知識や先端技術、トップアスリート人材を活用するこ とで、より効果的な児童・生徒のスポーツ能力の向上、多様なニーズに対 応できる質の高い指導者の育成と指導力の向上に取り組みます。

様々なスポーツ大会等を誘致し、トップレベルのスポーツに触れる機会 を充実することで、その魅力を伝え、競技人口の増加を図ります。

主な 取組 (1) トップアスリートの計画的育成

子ども及び指導者の大学合宿への派遣, 中学校運動部活動への講師 招へいによる技術指導など

(2)「観る」機会の充実

プロ野球. バレーボールVプレミアリーグ及びプロバスケットボー ルBリーグの試合誘致など



スポーツ環境の整備



施策の 方向

呉市公共施設等総合管理計画に基づき、施設の特性や地域の実情、利用実態 等を踏まえ,利用者のニーズに応じた設備の整備と機能の充実によるサービス の向上に取り組みます。

公益財団法人呉市体育振興財団等のスポーツ団体と連携した魅力的なスポー ツイベントなどを開催するとともに、気軽に情報を得ることができる呉市のス ポーツ情報ポータルサイトの開設など総合的な情報発信にも取り組みます。 また. 若者に人気のあるアーバンスポーツ*3の環境整備にも取り組みます。

主な 取組 (1) 施設の計画的整備

(2) スポーツイベントの開催・情報発信 スポーツ情報ポータルサイトの開設など

(3) 競技団体の活性化

競技団体への支援など

指標							
項目		現状		目標			
スポーツを定期的(週1回以上)に行う市民の割合	H28	56.9%	R7	64.0%			
全国大会出場者数(年間)	R元	248人	R7	420人			

3 生涯学習の推進

現状課題

- ○価値観の多様化や働き方の変化などに伴い、学習に対するニーズも多様 化しています。市民一人ひとりが生涯にわたり、心豊かで生き生きと生 活することができるよう、それぞれのニーズに応じた自主的な学びの場 を提供していく必要があります。
- ○地域コミュニティの希薄化や家庭を取り巻く環境が変化する中、社会教育が果たす役割は、これまで以上に重要になっています。社会教育環境を充実させるため、多様な主体との連携強化や、情報化社会の進展等に伴い多様化する学習ニーズへの対応が求められています。



生涯にわたる学びの支援と 社会教育の振興





施策の 方向

市民の生涯にわたる学びを支援するため、生涯学習センター等における市民一人ひとりの学習ニーズに合わせた講座の開催や、自主サークル活動の支援、リカレント教育*1を促進することで、一人ひとりの学ぶ意欲を満たし、誰もが生涯にわたって自ら学び、生き生きと活動することができる環境を整えます。

また、社会教育活動に取り組む団体に対し支援を行うとともに、未来を担う人材の健全育成に関する取組を通じて、社会全体の教育力の向上を図り、健全で明るい社会を実現します。

主な 取組

(1) 生涯学習推進体制の充実

生涯学習センター等での講座開設など

- (2) 市民の生涯学習・社会教育活動への支援 自主サークル活動や社会教育団体等への支援など
- (3) リカレント教育の普及・啓発
- (4) 家庭における教育力の向上と青少年の健全育成 「『親の力』をまなびあう学習プログラム|*2 を活用した講座の実施など
- (5) 図書館の充実

電子図書館サービスの導入など図書館機能の充実・向上による快適 な読書環境の提供など

^{※1} リカレント教育:社会人になってからも、学校などの教育機関に戻り、学習し、また社会へ出ていくということを生涯続けることができる教育システム

^{※ 2 「『}親の力』をまなびあう学習プログラム」: 広島県教育委員会が開発した家庭の教育力向上を目的とした参加体験型の学習 プログラム(通称「親プロ」)

基本計画

指標							
項目	現状			目標			
生涯学習センター等が実施する講座(定期・短期) の受講者数(年間)	R元	10,923人	R7	12,000人			
図書館の図書貸出冊数 (年間)	R元	969,874 冊	R7	1,000,000 冊			